

不定積分 (2)

不定積分の計算

講師

矢作 裕滋

学習のポイント

関数の実数倍や、2つ以上の関数の和および差の不定積分の求め方を学習します。また、ある条件を与えると積分定数が定まる問題も考えてみましょう。

- ① 関数の実数倍の不定積分
- ② 関数の和や差の不定積分
- ③ 積分定数の決定

関数の実数倍の不定積分

k を定数とし、 $F'(x) = f(x)$ が成り立つとき、 $\{kF(x)\}' = kF'(x) = kf(x)$ したがって、

不定積分の公式

$$\int kf(x)dx = k \int f(x)dx \quad (k \text{ は定数})$$

例 $\int 3x^2 dx = 3 \int x^2 dx = 3 \times \frac{x^3}{3} + C = x^3 + C$ (C は積分定数)

問 1 次の不定積分を求めなさい。

(1) $\int 6x dx$ (2) $\int (-8x) dx$

(3) $\int (-4x^2) dx$ (4) $\int 3 dx$

関数の和や差の不定積分

$F'(x) = f(x)$ 、 $G'(x) = g(x)$ が成り立つとき、

$$\{F(x) + G(x)\}' = F'(x) + G'(x) = f(x) + g(x)$$

$$\{F(x) - G(x)\}' = F'(x) - G'(x) = f(x) - g(x)$$

したがって、

不定積分の公式

$$\int \{f(x) + g(x)\} dx = \int f(x) dx + \int g(x) dx$$

$$\int \{f(x) - g(x)\} dx = \int f(x) dx - \int g(x) dx$$

